

第33回走る仲間の会岩手県交流会「盛岡大会」

一関楽走会

2016年
7月号
No.504
発行責任者
佐藤 東
Tel.23-0101

次回は一関で
会いましょう

**120人参加で盛大に開催
「次回大会一関に決定」**

一関楽走会がアトラクションの締めを、木遣りで果した今大会は、恒例の7月開催が6月19日実施され、つなぎ温泉「清温荘」を会場に盛大・盛会裡に閉幕しました。

創設45周年の記念すべき年に参加15人、女性唯一人は厳しい状況中、午前7時、一関レディースさん5人と共に市役所前を後に。また、参加予定の佐藤会長は、風邪のため、見送り人となる等の珍事もありました。

さて交流会の最大イベントは懇親会であり、各団体がステージを如何に活用するかが最重要懸案事項であります。役員会では「阿部顧問・菅原会計に「任」との経過ながら、顧問は不参加の由。会計只一つの団体芸”木遣り”の総意を確認した処で、延々と”真鶴(マナズル)””手古(テコ)”の発声に一心不乱の時を過ごせば、2時間越えの御所湖の大湖が目の前に展開。



120人参加の開会式

入浴・休憩中開催の会長会議で次期開催地は予想



開会挨拶の松岡盛岡走友会会長



午前10時元気良くスタート



乾杯の一関楽走会員

通り当一関に決定。二年後の全会員一致協力体制不可避の道筋を踏み出す事となりました。続く懇親の場は、ご飯釜と焼肉の各自2つのコンロの熱気とは多分関係なく盛り上がる中、充分過ぎるアルコールの御利益を

得て、集中練習の数倍の成果となった事とキツトさんの舞台撮影の結果に期待する次第です。帰りのバスは、予ての御寄贈の清酒二、焼酎一で車中は炎上、時は血潮の激流の果てに消え去りました。

菅原 楯夫 記



参加者を魅了した一関レディース



練習の成果を発揮した“木遣り”



大会旗盛岡走友会から一関楽走会へ引継



金ヶ崎マラソン大会参加の一関楽走会会員



帰りに参加者で記念写真

金ヶ崎マラソン 6月5日

今年4回目のハーフです。当日朝の例走会で佐藤会長・浅沼さんも出走すると確認し、スタート地点ではキッドさんも見つけて挨拶。自身のコンディションは風邪をひいてしまいましたがそもそも練習不足ですので、完走目指して練習のつもりで強行出場しました。スタートしてしばらくは佐藤会長と浅沼さんについて行きましたが3K過ぎの上りで佐藤会長がグングン前へ。下りを利用して離されないようについて行きました。9K付近で復路ですれ違うキッドさんに大きく手を振りました。10K通過は60分、調度良いペースとと思っていました。折り返して佐藤会長を抜くところまでは元気でしたが・・・復路は向かい風と微妙な上り(前半は気が付きませんでした)に苦しめられ大幅にペースダウン。15K付近では浅沼さんに「追いついたぞー！」と追い越され、気持ちを入れ直してついて行こうと思いましたが体は反応しません。佐藤会長にはいつ追いつかれるのか、同じ様に苦しんでいるのかなあ等考えながら、歩かず完走しよう！と走りました。ラストの急な上りもレースを終えて帰る方々の声援のおかげで止まらず走りきることが出来ました。大分グダグダでしたが個人的には春のハーフはこれが最後です。秋までには練習量を増やして昨年のベストを超えたいですね。

一緒に参加の皆様、お疲れ様でした～。

成田 頼大 記

金ヶ崎マラソン大会記録

ハーフ

10K

40歳以上

菅原孝一 1:42:59
浅沼善治 2:19:17
成田頼大 2:23:59
佐藤 東 2:27:37

60歳代

熊谷義郎 46:13
佐藤隆文 50:12
岩淵吉郎 50:51
小野寺良信 55:10

7月例走会

- 日時 7月3日(日) 午前6時
- 会場 市役所前駐車場